

やさしい日本語 外国人等にもわかるように配慮して、簡単にした日本語。平成7年の阪神・淡路大震災で被災した外国人の中に、日本語も英語も十分に理解できず、必要な情報を受け取ることができない人がいたことから、そうした人達が災害発生時に適切な行動をとれるように考え出されたもの。たとえば、「避難場所」は「にげるところ」、「土足厳禁」は「くつをぬいでください」などと言い換える。

介護の人材確保

訪問報酬引下げの影響と対応は



若木 早苗 (日本共産党)

問 訪問介護は人手不足が続いているにも関わらず、国は訪問介護の報酬を引き下げる制度改定を行うとしており、現場からは悲鳴が上がっています。このような国の対応について見解を伺います。また、介護保険料や利用料に跳ね返らない国庫負担の引上げと、訪問介護の報酬引下げの撤回を強く国に求めるべきと考えますが、いかがでしょうか。また、これまで繰り返し、人材確保策について求めてきました。どのように取り組むのかお答えください。

答 人材不足が深刻な訪問介護の報酬を引き下げることは課題があると考えています。国は処遇改善加算制度の改正と加算率の引上げにより支援すると説明しますが、処遇改善加算制度は手続が煩雑であるため、訪問介護事業所等が活用することは難しいと認識しています。報酬引下げの経営状況への影響を注視し、国に対し必要な要請等があれば行うべきと考えています。人材確保に向けては、検討会議を設置し、新たな支援事業の実施に取り組んでいきます。

一般質問項目 ①市民に寄り添う立川市の相談・支援体制について ②G L P 昭島巨大物流センター計画の影響と対策について ③介護保険制度とサービス確保について

土地利用規制法

住民の声を踏まえて要望を



あべ みさ (立憲ネット緑たちかわ)

問 土地利用規制法(重要土地等調査法)に基づき、自衛隊駐屯地や横田基地の周辺が注視区域等の指定候補地となりました。指定後は市内の広範囲の土地や建物が規制や調査の対象となるため、市民から基本的な人権の侵害等を懸念する声が出ています。国への意見に市民の懸念の声を反映させること、指定区域や周辺の住民や企業への十分な説明を国に求めることを市長に要望しましたが、どのような意見を国に提出したのか、私たちの要望は反映されたのか。

答 法律の目的は、重要施設等の機能を阻害する土地等の利用の防止にあると認識していますが、一方で、基地周辺が区域指定されることにより、不安を抱く市民もいると認識しています。国からの意見聴取に対し、議会等からの懸念の声を踏まえ、横田基地及び立川駐屯地の周辺市町と調整し、地域住民や事業者の権利を不当に制限しないこと、住民からの問い合わせ等には、国の責任において丁寧に対応することなど5項目の意見を申し添えて回答しました。

一般質問項目 ①30周年を迎える女性総合センター・アイムの存在意義を改めて考える ②土地利用規制法に基づく立川市の区域指定について ③誰にでも分かりやすい年号表記の徹底を!

入札契約制度

中央公契連モデルの導入を



福島 正美 (公明党)

問 現在の市の入札制度は変動型最低制限価格制度が導入されていますが、この制度は低価格を狙える大手業者が有利になりやすいと言われており、令和3年度の当市平均落札率は都内区市町村で最低の約81%です。そこで、過度な低価格が排除され、業者の純粋な努力で積算した入札価格が正当に評価されて落札に繋がる中央公契連モデルの導入を提案します。業界団体もこのモデルの導入を望んでいますが、検討すべきではないでしょうか。

答 官製談合を防止する観点から、現段階で中央公契連モデルを導入することは厳しいと考えていますが、令和6年度より公契連条例の議論を開始する予定となっており、既存の契約制度についても見直しの議論を進めていきたいと考えています。市内業者の優先を実現していく前提として、適正な価格の範囲内での競争をしっかりと担保しつつ、質の保証もした上で、市内業者に優先枠を設けていけるような制度改革に取り組んでいきたいと思っております。

一般質問項目 ①誰も置き去りにしない社会の構築に向けて ②入札制度の改革と見直しについて

多文化共生

やさしい日本語への対応状況は



高口 靖彦 (公明党)

問 多文化共生を図るため、やさしい日本語への対応を進めるべきと考えます。たとえば、市のホームページには掲載情報をやさしい日本語に自動翻訳するサービスがありますが、やさしい日本語になっていると思えません。改善が必要と考えますが、現在どのような反響がありますか。また、税金等の通知は、日本人でもわかりづらいので、外国人にとってはなおさらです。不利益にならないよう、やさしい日本語に対応していただきたいが、見解を伺います。

答 やさしい日本語の自動翻訳は、元の文章が難しいと変換後も外国人にわかりにくい表現になる場合があり、アンケートでも肯定的な意見が多い反面、わかりづらいとの意見もいただきました。窓口を設置するパンフレット等は翻訳をしており、税金の通知等、翻訳対応をしていない場合でも、窓口での通訳等により外国人にもわかりやすいよう心がけていますが、今後はやさしい日本語の活用等により、更に分かりやすい対応を図ります。

一般質問項目 ①第5次長期総合計画と、その後の立川の将来を見据えてのまちづくりについて ②防災・減災について

一般質問の運用を見直しました

これまで、副議長は職務の性質上一般質問を行わない取扱いになっていましたが、このたびこの運用を見直し、令和6年第1回定例会より、副議長も一般質問を行うことが可能になりました。ただし、副議長が一般質問を行っている又は行おうとするときに、議長が職務の遂行が困難な状況となった場合、副議長はその時点で一般質問を取り下げ、議長の職務を行います。

「たちかわ市議会便り」の表紙写真を募集しています

皆さんの応募をお待ちしています。募集概要等詳細は、右の二次元コードから市議会ホームページをご確認ください。



駅周辺環境の改善

安全・安心のための対策は



松本 あきひろ (たちかわ自民党・安進会)

問 駅は、地域の拠点エリアであり、周辺環境の改善を進めていくことで、安全・安心な立川のよりよきまちづくりになっていくものと考えます。特に立川駅前では、客引き行為等の課題があり、暗い雰囲気であることが否めません。また、カラスによる被害も尋常ならぬ状況となっており、その対策についても要望します。地域住民の拠点となる立川駅や市内各駅が明るい雰囲気を醸し出すよう周辺環境のさらなる改善に向けた方策について、見解を伺います。

答 駅前環境の整備については、都市計画マスタープランで定める整備方針に基づくまちづくりに取り組むことで良好な市街地形成に努めています。また、地域のまちづくり関係団体と協働、連携した取り組みを行うことで、まちの魅力や価値を維持向上させるまちづくりに努めています。駅前の治安改善については、令和5年度に、客引きの多いエリアにおける防犯パトロールの重点的な警戒や高性能な防犯カメラの導入等を行っています。

一般質問項目 ①富士見町周辺地域のこと等について ②特殊詐欺撲滅について